

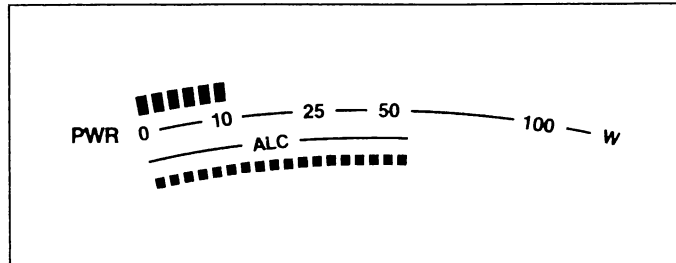
TS-870V 取扱説明書(補足)

お買上げいただきましてありがとうございました。

付属の取扱説明書は100W機 TS-870S を中心に記述されています。

TS-870Vは10W機のため以下の相違があります。取扱説明書を訂正の上ご使用ください。

■ パワーメーターの振れは10Wまでになります。それとともなってメーター表示は下記のようにになります。



■ p.4「付属品」の変更

予備ヒューズは15Aです。

なお、DC電源コードのヒューズホルダーには、プラス側に15A、マイナス側に25Aのヒューズが入っています。

■ p.78「申請書及び工事設計書」の変更

記載する空中線電力、定格出力は10Wになります。

希望する周波数の範囲、空中線電力、電波の型式

周波数帯	空中線電力	電波の型式
1.9MHz帯	10W	A1
3.5MHz帯	10W	A1 A3 A3J
3.8MHz帯	10W	A1 A3 A3J
7MHz帯	10W	A1 A3 A3J
10MHz帯	10W	A1
14MHz帯	10W	A1 A3 A3J
18MHz帯	10W	A1 A3 A3J
21MHz帯	10W	A1 A3 A3J
24MHz帯	10W	A1 A3 A3J
28MHz帯	10W	A1 A3 A3J F3
		※1

右表の Bの範囲 は技術基準適合証明送受信機での申請のときは省略できます。従って、付属装置付設により非技術基準適合証明送受信機として保証認定を申請するときの記載例(送信機系統図(→p.80)が必要)です。

ご注意

※1 第4級アマチュア無線技士のかたは、電波の型式A1および1.9MHz、10MHz、14MHz、18MHzは記入しないでください。

第3級アマチュア無線技士のかたは、10MHz、14MHzは記入しないでください。

※2のところには使用する送信空中線の型式を記入してください。

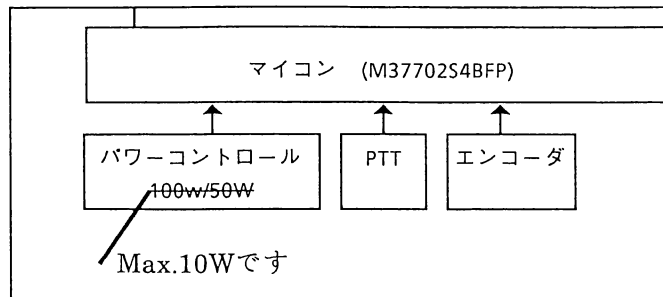
工事設計		第1送信機																		
変更の種別																				
技術基準適合証明番号		K□□□□□□□□□																		
発射可能な電波の型式 周波数の範囲 ※1		<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">A1</td> <td rowspan="2">{</td> <td>1.9MHz帯</td> </tr> <tr> <td>10MHz帯</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">A1 A3 A3J</td> <td rowspan="6">{</td> <td>3.5MHz帯</td> </tr> <tr> <td>3.8MHz帯</td> </tr> <tr> <td>7MHz帯</td> </tr> <tr> <td>14MHz帯</td> </tr> <tr> <td>18MHz帯</td> </tr> <tr> <td>21MHz帯</td> </tr> <tr> <td>A1 A3 A3J F3</td> <td></td> <td>24MHz帯</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>28MHz帯</td> </tr> </table>	A1	{	1.9MHz帯	10MHz帯	A1 A3 A3J	{	3.5MHz帯	3.8MHz帯	7MHz帯	14MHz帯	18MHz帯	21MHz帯	A1 A3 A3J F3		24MHz帯			28MHz帯
A1	{	1.9MHz帯																		
		10MHz帯																		
A1 A3 A3J	{	3.5MHz帯																		
		3.8MHz帯																		
		7MHz帯																		
		14MHz帯																		
		18MHz帯																		
		21MHz帯																		
A1 A3 A3J F3		24MHz帯																		
		28MHz帯																		
変調の方式		平衡変調 リアクタンス変調 低電力変調																		
定格出力		10W																		
終 段 管	名称 個数	2SC2879 X 2																		
	電圧	13.0V																		
送信空中線の型式		※2																		
その他の工事設計		電波法第3章に規定する条件に合致している																		

■ p.79 「50Wパワーダウンの方法」の変更

本機は10W出力ですので、50W切り換えスイッチはありません。

■ p.80 「TS-870S送信機系統図」の変更

左下部分のパワーコントロールを、下記のように訂正してください。



■ p.92 「パソコン・コントロールコマンド」の変更

PCコマンドのパラメーター10(min)~100(max)は%表示になります。

PC

送信出力(PWRつまみ)の設定。

	1	2	3	4	5	6
設定	P	C	PWR			;
読出	P	C	;			
応答	P	C	PWR			;

パラメータ	3~5桁(3桁)			010(min)~100(max)	[%]
例	010	:	1	[W]	
	050	:	5	[W]	
	100	:	10	[W]	

■ p.99 「定格」の変更

消費電流の送信(最大)と、送信出力は下記の値になります。

消費電流	受信(無信号時)	2A		
	送信(最大)	10A		
送信出力	1.9~28MHz	SSB, CW, FSK, FM	MAX	10W
			MIN	2W以下
	AM	MAX	5W	
		MIN	2W以下	

本機は100W出力にパワーアップすることはできません。

■ 「回路図」の変更

内部の回路は100Wタイプとは一部異なります。

TS-870Vの回路図(有料)をご希望のかたは、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご相談ください。